

## 濱口梧陵国際賞(国土交通大臣賞)を受賞しました (2020/11/4)

テーマ：津波防災、国際貢献

場 所：海運クラブ（東京都千代田区平河町2丁目6-4 海運ビル）

2015年の「世界津波の日」の制定を契機に、2016年に創設された濱口梧陵国際賞（国土交通大臣賞）を当研究所の今村文彦所長（災害リスク研究部門 津波工学研究分野）が受賞し、授賞式及び記念講演会が11月4日、東京で開催されました。

同賞は津波防災をはじめとする沿岸防災技術分野で顕著な功績を挙げた方を表彰するものです。受賞者には、大西英男副大臣より記念の楯が授与されました。今年は5回目になり、濱口梧陵の生誕200年に当たる年になりました。

同賞は、2016年に首藤伸夫名誉教授も受賞されており、東北大学では2名目になります。

### 〈受賞者〉

今村 文彦 教授 東北大学災害科学国際研究所所長 津波工学研究分野教授  
Costas Synolakis 博士 南カリフォルニア大学教授  
アチェ津波博物館 インドネシア

今村文彦所長は30年以上にわたって津波防災・減災技術開発、津波数値解析、津波被害調査などを実施しています。現在は津波数値モデル移転国際プロジェクト（TIME）責任者として国内外で活動しており、特に、1992年ニカラグア地震津波以降の災害調査では、国際調査チームの中核役として災害実態の報告や復旧・復興への助言を行っています。津波に関する学術論文は英文・和文150編を超え、巻頭言・基調論文など多数の出版も行っており、その活動を高く評価されました。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/port07\\_hh\\_000152.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/port07_hh_000152.html)

<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001369372.pdf>



大西副大臣より国際賞の楯を



関係者との記念撮影

文責：今村文彦（災害リスク研究部門）